

令和5年度

岡山市防災キャンプ推進事業 事例報告書



岡山っ子育て成局 子育て支援部 地域子育て支援課

は じ め に

平成24年度より、公民館単位での取り組みとして始めた「防災キャンプ推進事業」ですが、町内会や婦人会、消防団をはじめとする地域団体のみなさま、そして児童・生徒のみなさま、ご家族のみなさまなど、多くの方々のご協力・ご参画のもと令和5年度の事業を終えました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へと移行し、感染対策について再考しつつ、それぞれの実行委員会において、工夫をこらした内容・プログラムで防災キャンプに取り組んでいただきました。

令和5年度の実施状況をみなさまと共有し、継続した防災体験学習への取り組み、または、新しく当事業に参加する際に役立てていただきたいと考えています。

また、令和6年能登半島地震では避難所内で新型コロナウイルス感染やノロウイルス感染が発生し、その対応に苦慮する姿、孤立状態に陥った集落等の様子などが報道されました。こうした事例から得られる知見も今後の事業実施に活かしていただきたいと思います。

最後になりましたが、公民館職員及び地域担当職員の方々をはじめ、みなさまのご協力により円滑に事業を実施することができました。事業実施にあたりご尽力を賜りましたみなさまに、心からお礼申し上げます。

令和6年3月

岡山市岡山っ子育成局子育て支援部地域子育て支援課

も く じ

I 令和5年度防災キャンプ推進事業実績

操山公民館	・・・・・・・・	1
津高公民館	・・・・・・・・	5
高松公民館	・・・・・・・・	9
吉備公民館（吉備学区）	・・・・・・・・	16
吉備公民館（陵南学区）	・・・・・・・・	20
足守公民館	・・・・・・・・	24
旭東公民館	・・・・・・・・	30
山南公民館	・・・・・・・・	34
光南台公民館	・・・・・・・・	38
御南西公民館	・・・・・・・・	41
御津公民館	・・・・・・・・	47
建部町公民館（建部上地区）	・・・・・・・・	51
建部町公民館（福渡地区）	・・・・・・・・	54
瀬戸公民館	・・・・・・・・	58

II 資料編

岡山市防災キャンプ推進事業実施イメージ	・・・・・・・・	64
令和5年度岡山市防災キャンプ推進事業実施要項	・・・・・・・・	65
参加実績推移（令和元年度～令和5年度）	・・・・・・・・	68

令和5年度 岡山市防災キャンプ推進事業 実績報告書

公民館名

岡山市立操山公民館

実施施設名

岡山市立宇野小学校

1. 事業趣旨と目的

避難訓練及びその他体験活動を通じて、災害発生時、自分自身で命を守るために必要な知識や対応方法を学び、防災意識の高揚を図る。また地域住民が集うことにより、児童生徒と地域住民の交流の機会とし、共助できる関係づくりの一助とする。

2. キャンプ実施実績

事業名称	宇野学区防災訓練			
実行委員会名称	宇野学区防災訓練実行委員会			
実施期日	第1回	令和 5 年 11 月 26 日 から 1 日間		
	第2回	令和 年 月 日 から 日間		
	第3回	令和 年 月 日 から 日間		
主な活動	プログラム等	講師・協力団体等	活動等の概要	活動時間
	避難訓練	各町内会他	避難経路の確認他	0.5 時間
	会場設営	参加者全員	避難所開設訓練	1.0 時間
	"	町内協力者・民生委員	物資配給訓練・水消火器訓練・テントベッド組み立て訓練他	1.5 時間
	展示・写真掲示	各町内会他	西日本豪雨写真・各防災ブース展示	3.0 時間
	反省会・防災講話	森田 靖氏	本日の振り返り及び防災講話や各ワークの講評	0.5 時間
	閉会式・片付け	全員		0.5 時間
合 計			7 時間	

3. 参加者実績(延参加者数) ※複数回開催している場合は総合計を記載

小学生	18 名	中学生	3 名	高校生	0 名
未就学時・乳児	5 名	家族・地域住民	86 名	教職員・施設職員等	2 名
有償ボランティア(講師・運営補助者等)			1 名	無償ボランティア	0 名
総 計			115 名		

4. 実行委員会実績

構成員数	55 名	主な構成員	連合町内会、コミュニティハウス運営委員会、社会福祉協議会、婦人会、民児協、愛育委員会、交対協、交通安全母の会、環境衛生協議会、スポーツ協会、老人クラブ連合会、消防団宇野分団、小学校PTA、宇野小学校、宇野認定こども園、原尾島こども園、操山中学校、うのクラブの各代表者、公民館		
会議内容	会議日	場 所	協議内容等		開催時間
	9月28日(木)	操山公民館	名簿の確認、今年度計画案の協議		2 時間
	10月26日(木)	宇野コミュニティ	実施項目と役割分担、避難所配置図の協議		2 時間
	11月17日(金)	宇野コミュニティ	体育館の会場図、訓練計画案、準備品リストの確認		2 時間
	11月21日(火)	操山公民館	最終確認、各役割分担の確認		2 時間
	12月21日(木)	操山公民館	反省会及び今後の課題検討		2 時間
合 計			10 時間		

5. 事業成果の周知実績

行事名称				
実施期日	第1回	令和 6 年 3 月 2 日 から 4 日間		
	第2回	令和 年 月 日 から 日間		
主な活動	プログラム等	講師・協力団体等	活動等の概要	活動時間
	報告掲示		操山公民館ロビーに展示	時間
				時間
				時間
				時間
合 計				時間

6. 成果と課題

今年度の成果	<p>町内会をはじめ各種団体が協力し、避難所開設訓練、避難訓練とも予定通り実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本豪雨災害時の宇野学区の状況を写真展示したことで、当時の様子を再確認するとともに、新しくこの学区に引っ越してきた人に災害の状況について伝えることができた。 ・避難所内に設置したブースの活動に参加することで地域の住民同士のつながりを作ることができた。 ・水消火器体験、避難所スリッパづくりなど子どもも楽しんで学べる活動ができた。 ・コロナ禍を経て4年ぶりに開催したこともあり、経験(訓練)の大切さを再確認した。毎年、継続して実施することが必要であると再認識できた。
今後の課題	<p>災害時の対応を指定職員も交えて行ったことで今後の課題が明確になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町内会ごとに避難経路の確認が必要であることがわかった。今後検討していきたい。 ・災害弱者(車いすの高齢者など)の避難について、避難場所がエレベーターの無い2階のフロアであることなど、避難場所まで移動、避難所内の生活について課題があることがわかった。 ・要介護者、アレルギー、薬の携行、ペットを同伴しての避難など課題が多いことがわかった。 ・実施日について、中学校がテスト期間であったため中学生の参加が少なかった。日程の設定について配慮が必要である。 ・避難所開設について受付場所の設営など会場についてのマニュアルが必要である。 ・令和6年度、県立岡山操山高校、令和7年度、操山公民館、令和8年度、市立操山中学校と地域内の避難場所で順次訓練を行っていく。

7. 活動の様子

① 避難所開設訓練



受付の開設には、民生委員と市の指定職員が加わって取り組みました。久しぶりの本格的な避難所開設訓練で、戸惑うことも多々ありましたが、机の配置や受付表の置き方など前回のやり方を思い出しながら、取り組みました。担当者全員の協力体制のもと、想定時間内に開設でき、避難所の受付を開始できました。

② 物資配給訓練



アルファ米・クラッカー・水を各1個ずつ袋詰めし、参加者に配布するための準備をしました。段ボールから取り出し、袋詰めをする作業を分担して手際よく行いました。

③ 水消火器訓練



岡山市消防団宇野分団の方々の指導のもと、子どもから大人まで楽しみながら消火器の使用方を学習しました。大人でも初めて体験する方も、多数いらっしゃいました。

④ パーテーション(テント型)・簡易ベッド組み立て



操山中学校の中学生ボランティアと校長先生が中心となり、地域の方々も一緒に協力して組み立てを行いました。組み立てデモンストレーションをすることで、参加者も使用方法について学習できました。

⑤ 新聞スリッパ作り



参加者が新聞スリッパ作りに取り組みました。大小いろいろなサイズを、見本を参考にお互い教え合いながら作りました。作成後スリッパを履いてみて、履き心地の感想を伝え合いました。

⑥ 西日本豪雨写真・各防災ブース展示



西日本豪雨では、宇野学区は多くの箇所で浸水被害にあいました。現場写真を場所毎に整理して、掲示しました。掲示写真を見て、お互いに経験談を語りあう場面が見られました。

⑦ 講評(防災講話・振り返り)



「避難方法」「受付・誘導」「避難訓練」「避難所」「その他」の5グループに分かれて、ふりかえり、意見交換しました。各担当の実行委員に参加者も加わり、話し合いが活発に行われました。その後全体発表を行い、皆で情報共有しました。最後に、講師による講評と防災講話を聞くことで、災害発生時に必要な知識や対応方法を学びました。

令和5年度 岡山市防災キャンプ推進事業 実績報告書

公民館名	岡山市立津高公民館
実施施設名	岡山市立津高公民館

1. 事業趣旨と目的

平成30年西日本豪雨で津高地域にも被害を受けた地区があった。当地域は、台風等でため池の決壊や土砂崩れが起きやすい箇所もあり、日頃からの備えが必要である。各小学校区で情報交換会を行い、地域住民の防災意識は高まっている。災害を想定した様々な体験学習をすることによって、一人ひとりの防災力を高め、災害が起こったときに必要なことは何か、参加者が主体的に関わり、学び、且つ中学生等の若い世代がリーダー的な役割を担うことで彼ら自身の成長を促す機会としたい。また小学生の保護者世代をターゲットとして防災に関する意識高揚を図りたい。

2. キャンプ実施実績

事業名称	津高防災キャンプ(親子で体験、学ぼうさい!)			
実行委員会名称	津高防災キャンプ実行委員会			
実施期日	第1回	令和5年12月9日から1日間 リーダー研修		
	第2回	令和5年12月16日から1日間 当日		
	第3回	令和 年 月 日から 日間		
主な活動	プログラム等	講師・協力団体等	活動等の概要	活動時間
	防災講話	Team桃太郎	小学生向けの防災のお話(自助・共助・公助について)	1時間
	消防関連体験	消防署・消防団	心肺蘇生法、煙道体験、水消火器、地震体験車	4時間
	緊急時体験	ボーイスカウト	ロープワーク	4時間
	非常食体験	栄養、愛育委員会	非常食(アルファ米)を用いた炊き出しと豚汁の提供	4時間
	仮想体験	日本赤十字社	応急措置 避難所での生活	4時間
	非常時持ち出し薬	しゅうじつ薬局	非常時持ち出し薬の説明 防災グッズ 非常食紹介	4時間
合 計				21時間

3. 参加者実績(延参加者数) ※複数回開催している場合は総合計を記載

小学生	30名	中学生	13名	高校生	0名
未就学時・乳児	9名	家族・地域住民	32名	教職員・施設職員等	1名
有償ボランティア(講師・運営補助者等)			2名	無償ボランティア	70名
総 計					157名

4. 実行委員会実績

構成員数	24名	主な構成員	連合町内会長、栄養改善協議会代表、愛育委員代表、小・中校長会代表、各地区消防団団長、ボーイスカウト岡山連盟、地域のボランティアスタッフ、地域センター所長、公民館職員		
会議内容	会議日	場 所	開催時間		
	9月22日	津高公民館	内容と進め方、役割分担についての準備委員会 2時間		
	12月1日	津高公民館	当日の役割分担とスケジュールの確認 2時間		
	1月13日	津高公民館	反省(アンケート結果)と来年度について 2時間		
合 計					6時間

公民館名	岡山市立津高公民館
実施施設名	岡山市立津高公民館

5. 事業成果の周知実績

行事名称	津高防災キャンプ第2回実行委員会			
実施期日	第1回	令和 6 年 1 月 13 日 から 1 日間		
	第2回	令和 年 月 日 から 日間		
主な活動	プログラム等	講師・協力団体等	活動等の概要	活動時間
	意見交換	参加者	感じたことや改善案等の意見交換	1 時間
	アンケート結果	公民館職員	アンケート結果の報告、反省と課題	0.5 時間
	来年度について	参加者	意見交換、課題からの来年度の進め方検討	0.5 時間
				時間
				時間
合 計				2 時間

6. 成果と課題

今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係団体等の協力により、小学生やその保護者をはじめ一般住民の方々の防災意識を高めることができた。 ・次代の防災を担う中学生がスタッフとして積極的に参加し、知識を習得することで将来の地域の防災がより強固になった。 ・非常食や防災グッズを用意する必要性を十分に感じてもらった。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・津高地域にとっては初めての防災キャンプで参加者もスタッフも何をどうしてよいのか戸惑うことが多かった。中学生が防災に関する技術を習得し、その内容を小学生に指導する。それを後方から見守ったりアドバイスを大人のスタッフが支援するという主旨だったが、中学生のスタッフが少なく、すべてのブースにまで手が回らなかった。それでも中学生は自主的にかつ意欲的に活動して地域からは高い評価を得た。途中、予想外の飛び入り参加者があり、予定していた非常食やグッズが足りなくなるなどトラブルが発生したが、計画通りにならないときにどう対応するかも今回の学習の一つだと思っている。今回は公民館主体で他は指示を待つ体制になってしまったが、次回以降は4つの部会を作ってそれぞれが主体的に責任を持って企画、運営ができるようにしていきたい。 ・来年度以降も継続したいと考えているので、もっと地域を巻き込んだ進め方を検討したい。(地域が自主性をもって参加する)

7. 活動の様子

令和5年12月9日(土) 中学生、地域スタッフ研修 12:30~16:00

心肺蘇生法、ロープワーク、水消火器、非常食体験の講習を受け、担当するブースを決定した。



令和5年12月16日(土) 津高防災キャンプ 9:00~13:00

◇防災のお話(Team桃太郎 北山代表)



◇非常食(アルファ米と豚汁)

◇煙道体験



◇心肺蘇生法



◇ロープワーク(ボーイスカウト)



◇地震体験車



◇水消火器



◇避難所生活 応急措置(日本赤十字社)



◇非常時の持ち出し薬(しゅうじつ薬局)



令和5年度 岡山市防災キャンプ推進事業 実績報告書

公民館名

岡山市立高松公民館

実施施設名

庄内小学校体育館、鯉山小学校体育館、足守川河川敷

1. 事業趣旨と目的

地域住民が防災訓練や救護訓練を行うことで、防災・減災意識の高揚に努める。また訓練参加により、地域住民相互の交流を図る場とする。

2. キャンプ実施実績

事業名称	令和5年度庄内学区防災訓練、令和5年度加茂学区防災訓練、令和5年度鯉山学区防災訓練			
実行委員会名称	庄内学区安全・安心ネットワーク、加茂学区安全・安心ネットワーク、鯉山学区安全・安心ネットワーク			
実施期日	第1回	令和5年10月1日から半日間		
	第2回	令和5年11月25日から半日間		
	第3回	令和6年1月21日から半日間		
主な活動	プログラム等	講師・協力団体等	活動等の概要	活動時間
	消防隊による演奏	岡山西消防署	演奏鑑賞と災害非常時対応の説明	1 時間
	消防車両の見学	岡山西消防署	消防車両の設備見学	2 時間
	AED使用体験	岡山西消防署	AEDの使い方の訓練	3 時間
	応急措置訓練	アクティブホーム、消防団	怪我や骨折時に身近なもので対応する訓練	3 時間
	心肺蘇生	岡山西消防署	心肺蘇生の基礎訓練	3 時間
	パネル展示	岡山市危機管理室	被災地のパネル展示	3 時間
	安否確認	安全・安心ネットワーク	招集時の氏名、人数確認	3 時間
	消火体験	岡山西消防署	水消火器による初期消火の訓練	3 時間
	非常持出品の展示	愛育委員会 吉備津郵便局	一般的な持ち出し品の展示と見学、重さ確認	2 時間
	簡易トイレの展示	岡山市危機管理室	簡易トイレ完成品の展示・見学	2 時間
	防火服試着体験	岡山西消防署	消防現場で着用する防火服の着用体験	1 時間
	食器、スリッパ作り	愛育委員会	チラシや新聞紙などで災害時に使用できるスリッパや食器の製作	2 時間
	担架作り体験	岡山西消防署	毛布で担架を作る体験	1 時間
	テント、ベッドの組立	岡山市危機管理室	折り畳みテントの設営、簡易ベッドの組立て	2 時間
	備蓄品の場所確認	岡山市立鯉山小学校	校舎内に備蓄されている災害備蓄品の場所と現物確認	1 時間
食料調達訓練	愛育委員会、栄養改善協議会、婦人会	アルファ米の試食、炊き出しと支給秩序の維持訓練	4 時間	
合 計				35 時間

3. 参加者実績(延参加者数) ※複数回開催している場合は総合計を記載

未就学児・乳児	39	名	小学生	61	名	中学生	41	名
高校生	30	名	家族・地域住民	232	名	教職員・施設職員等	6	名
有償ボランティア(講師・運営補助者等)				0	名	無償ボランティア	60	名
総合計							469	名

4. 実行委員会実績

構 成 員 数	79	名	主 な 構 成 員	連合町内会、消防団、施設職員、青パト隊、民生・児童委員、保育園、幼稚園、小学校、愛育委員会、婦人会、栄養改善協議会、電子町内会、老人クラブ、体育協会、、北区北包括センター、社会福祉協議会、郵便局、公民館				
会 議 内 容	会議日		場 所	協議内容等				開催時間
	8/5、9/22、11/13		高松公民館	庄内学区防災デイ・キャンプ実施について				4 時間
	7/29、8/25、9/15		高松公民館	加茂学区防災訓練実施について				3 時間
	10/22、12/17		鯉山コミュニティハウス	鯉山学区防災訓練実施について				3 時間
	11/25		庄内小学校	庄内学区 結果の振り返りと反省、今後の活動について				1 時間
	10/13		高松公民館	加茂学区 結果の振り返りと反省、今後の活動について				1 時間
	1/28		鯉山コミュニティハウス	鯉山学区 結果の振り返りと反省、今後の活動について				1 時間
合 計							13 時間	

5. 事業成果の周知実績

行 事 名 称	令和5年度高松地区防災発表会							
実 施 期 日	第1回	令和 6 年 2 月 3 日 から 半 日間						
	第2回	平成 年 月 日 から 日間						
主 な 活 動	プログラム等	講師・協力団体等	活 動 等 の 概 要				活動時間	
	訓練発表	庄内学区、加茂学区、鯉山学区、各安全安心ネットワーク	各小学校校区で実施された防災訓練の実施報告と次年度に向けた課題発表				0.5 時間	
	講評・講演	岡山県災害ボランティアコーディネーター森田靖さん	地域の防災活動				1.0 時間	
	講師に質問・話し合い	庄内学区・加茂学区・鯉山学区各安全安心ネットワーク	講演に対する質疑応答及び地域防災に生かすための意見交換				0.5 時間	
合 計							2.0 時間	

6. 成果と課題

<p>今年度の成果</p>	<p>※各地域における年間の必須行事として、準備から実施まで地域に定着している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内学区では、4年ぶりの開催。本年は庄内小学校が長寿命化工事の関係で体育館内での開催となった。多くの地域の皆さんが参加され、防災に対する意識の高いことが示された。アンケート結果からも継続した開催が望まれているので、担当者の育成及び組織の充実を図って、次年度につなげていきたい。 ・加茂学区では、4年ぶりの河川敷での訓練であったが天気も良く、順調にできた。参加者もほぼ想定通りであった。三世代交流夏祭りや市民運動会同様「学区の絆確認」行事として定着したことを実感した。 ・鯉山学区では、久しぶりの開催で目的を「避難所運営の防災訓練」として、避難所の設営に際して、ビニールシート張り、避難時に使用される毛布やラジオ・ライトなどをどこに保管しているかを実際に確認し、危機管理室職員よりテントやベッドの組立て方を含めた説明を受けた。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は久しぶりの開催だが実施できた。次回は、避難所の設営作り等を通じたスタッフの育成(人づくり)を行っていかねばならない。早い時期からの始動も検討していきたい。 ・加茂学区 町内会単位の自主防災会の設立促進。町内会単位の避難訓練の実施。避難所運営の模擬訓練(公会堂、集会所を使用して)。 ・鯉山学区 災害時の備品の確認はできたが、学区全員を賄えるものではない。自助・共助・公助と言われるように、個人でも常日頃から意識するよう、周知していかなければならない。

7. 活動の様子

・令和5年度庄内学区防災デー・キャンプ(庄内小学校体育館)

体育館での消防隊の演奏からスタートした。演奏にあわせた3人のカラーガード隊員によるフラッグ演技が素晴らしかった。

今年は、会場の庄内小学校が長寿命化工事中で、運動場が使用できず、活動の制限があったが久しぶりの開催で、心待ちにしていた町内の方々の声が聴けた。消防団によるAED操作、心肺蘇生体験も好評を得た。中庭での消火訓練には、小学生が実践し体験の機会を得た。また、中学生ボランティアが縦横に動いていたので、よい経験になったことだろう。



心肺蘇生



消防音楽隊演奏



応急手当



消火器放水訓練



炊き出し訓練



非常食試食

・令和5年度加茂学区防災訓練（足守川河川敷）

4年ぶりの屋外河川敷での訓練であったが、天気もよく順調に実施できた。各参加者が互いに連携を取り、スムーズな運営であった。

河川を有する加茂学区としては、水は避けては通れない自然の一つである。今回、消防団の要請に応える形で、消防署員による水難救助訓練を実施していただいた。水難者に対する対応として水を入れたペットボトルを投下するなど、普段とは違う光景が見られた。

放水訓練などは屋内で行う訓練とは異なり、臨場感を伴うものであった。「ホースが重かった。」「放水時の圧が分かった」「力があるから大変だ」などの感想が寄せられた。

また、全体の感想として、参加者から「たのしかった」「勉強になった」「訓練の大事さが分かった」などの声が寄せられ、防災訓練として、一定の成功をみたと思われる。



受付風景



水難救助訓練



簡易担架による移動体験



心肺蘇生並びにAED体験



新聞紙による紙スリッパ作り



放水体験

・令和5年度鯉山学区防災訓練（鯉山小学校体育館）

久しぶりの開催ということで、以前とは異なった、役員のための防災訓練を実施した。

今回の参加者は、地域の役員のため、消防団・中学生ボランティア・保護者が同伴した子どもに限った。

まずはじめに、会場設営のため床面にブルーシートを張る作業を参加者で行った。通路の幅(1.5m)に気をつけて設置した。その後、小学校の市備蓄品置き場の確認を行い、テント・組立てベッド・毛布・ラジオなどを会場に搬入した。

次にブースに分かれて、テント組立てや備品等使用方法の説明を危機管理室の担当者より受け、参加者が体験した。実際に参加者が組み立てや収納、備品に触れることで、現実味が伴った。



開会宣言



ブルーシート張り



危機管理室担当者からの説明



市備蓄品置き場



テントの組立て



地域の郵便局の備蓄品

・令和5年度高松地区防災発表会（岡山市立高松公民館2階 研修室、第2講座室）

令和6年2月3日（土）、31名が参加し、講師として岡山県災害ボランティアコーディネーター森田 靖氏を迎え開催した。

最初に各小学校区で実施した訓練の発表があり、訓練内容のよかった点、今後の課題などを発表し情報を共有した。その後、森田 靖氏の講演会を実施。テーマは「地域の防災訓練状況」とした。参加者の主な感想は次のものである。

- ・防災訓練では体験することのできない実際の現場における困難さや限界を知ることができた。
- ・ボランティア活動の実施に伴う現場の苦労や感じたことを直接聞くことで、防災訓練に対する取り組みにも参考になった。
- ・他の地域での防災訓練の紹介は、今後の防災訓練に対する参考になった。

その後、各参加者による意見交換を行い、防災意識の共有を図った。



庄内学区発表



鯉山学区発表



加茂学区発表



森田 靖氏の講演風景



参加者による発表風景



会場全体風景

令和5年度 岡山市防災キャンプ推進事業 実績報告書

公民館名	岡山市立吉備公民館
実施施設名	岡山市立吉備公民館

1. 事業趣旨と目的

自助・共助に重点をおいた実習を計画し、住民と地域活動団体が協力して地域防災力を高めることを目的とする。様々な災害に備えて、避難所が開設された際の備蓄、避難経路、避難所運営の体制づくりと防災リーダーの育成をめざす。

2. キャンプ実施実績

事業名称	第12回防災キャンプ			
実行委員会名称	吉備学区防災キャンプ実行委員会			
実施期日	第1回	令和5年10月1日から1日間		
主な活動	プログラム等	講師・協力団体等	活動等の概要	活動時間
	実習	自衛隊	車両、写真展示、子ども制服体験	2.5時間
		ボーイスカウト	三脚づくり	
		消防署・消防団	消火器訓練、土のう積み訓練、子ども制服体験	
		公民館職員・愛育委員	水着せ替えゲーム	
			転倒防止間違い探し	
栄養改善協議会	手話で避難を呼びかけよう			
閉会		修了証授与・アンケート記入・片付け	0.5時間	
合 計			3 時間	

3. 参加者実績(延参加者数) ※複数回開催している場合は総合計を記載

小学生	22 名	中学生	16 名	高校生	名
未就学時・乳児	4 名	家族・地域住民	23 名	教職員・施設職員等	7 名
有償ボランティア(講師・運営補助者等)			6 名	無償ボランティア	55 名
総 計					133 名

4. 実行委員会実績

構 成 員 数	23 名	主 な 構 成 員	吉備学区連合町内会、吉備中学校、吉備小学校、小・中PTA、民生委員・児童委員、愛育委員、体育協会、消防団、栄養改善協議会、ボーイスカウト、防災ボランティア	
会 議 内 容	会 議 日	場 所	協 議 内 容 等	開催時間
	4月28日	吉備公民館	防災キャンプの概要・チラシ(案)	2 時間
	6月30日	吉備公民館	実施計画について	2 時間
	9月15日	吉備公民館	日程と役割分担(最終確認)	2 時間
	10月14日	吉備公民館	反省会	2 時間
合 計				8 時間

公民館名

岡山市立吉備公民館

実施施設名

岡山市立吉備公民館

5. 事業成果の周知実績

行事名称	公民館ロビー展示			
実施期日	第1回	令和 5 年 12 月 1 日 から 日間		
主な活動	プログラム等	講師・協力団体等	活動等の概要	活動時間
	ロビー展	公民館職員	公民館事務所窓口上部に掲示して、館の利用者に年間を通して啓発をしている。	時間
合 計				0 時間

6. 成果と課題

今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆中学生ボランティアの活躍 吉備中学校へボランティアの募集を行い、15名の学生が「転倒防止間違い探し」「水害着せ替えゲーム」「パッククッキング」の準備、進行、解説などを担当した。 また、ボーイスカウトの中学生が、「三脚づくり」「ロープワーク」で講師となり、ボーイスカウトで学んだ知識を地域で発揮する場になった。参加者から「中学生の活躍が頼もしい」との感想があった。 ◆要配慮者の避難を考える機会 耳の聞こえない方、高齢者などの災害時の避難について取り上げ、公民館職員による「手話で避難を呼びかけよう」のコーナーで手話を実習しながら学ぶことが出来、参加者からも「初めて知って体験出来て良かった」との感想が多かった。 ◆自衛隊の協力 初めて自衛隊の方に協力いただき、救助活動のお話、車両見学、子ども制服体験を実施し、親子での参加者はもとより、大人やスタッフにも新たな視点で災害について考えてもらう機会となった。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員の反省会では、来年の開催に向けて、今年出来なかった「起震車」「煙道体験」「火災VR体験」「大鍋での炊き出し訓練」などの実施案が出され今後も防災訓練を続けることで意見が一致した。 しかし、チラシを見て参加してくれた方は49名と少なく、自分達が暮らす地域で防災訓練へ参加し、自助・共助について学んでもらう工夫が課題となった。 ・参加者アンケートでは、防災キャンプへの要望として、「防災リュックの中身展示・防災グッズの実演」や「緊急トイレの制作」「防災散歩」など取り上げて欲しいとの意見が寄せられたので、ぜひ今後の計画に生かしていきたい。 ・また、近い将来、発生が予想される南海トラフ地震や近年多発する気象災害などの様々な災害を想定して、町内会の自主防災会や地元法人への呼びかけ、避難所となる学校との連携、若者がボランティアとして参加できるプログラムの企画など、防災リーダーが存在する地域を目指す努力をしていく。

7. 活動の様子

◆8時30分 受付開始(担当:民生委員・児童委員)



◆9時 開会



◆ロープワーク・三脚づくり (担当:ボーイスカウト中学生)



もやい結びは人を助ける時に役立ちます。ひっぱっても体を締め付けない

巻き結びで竹を縛ったり、調理したりできます



◆消防車説明と子ども制服体験



◆消火訓練 (担当:岡山西消防署・消防団)



◆土のう積み(担当:防災ボランティア)



◆自衛隊活動展示

子ども制服体験 (担当:自衛隊・愛育委員)



たにの自
！乗パ衛
りジ隊
まェ仕
し口様

◆地震転倒防止間違い探し・水害着せ替えゲーム (担当:吉備中学生ボランティア)



中学生がゲームの準備、説明、進行、解説をしました。7つのグループに対して交代しながら説明をし、参加者からも中学生の活躍に感心したとの感想がありました。

◆手話で避難を呼びかけよう

◆パッククッキング(ピラフづくり)

(担当:吉備公民館職員)

(担当:吉備学区栄養改善協議会・中学生ボランティア)



◆12時 閉会式

閉会式では消防、自衛隊の方からの活動まとめのお話の後、西村実行委員長から、吉備学区連合町内会で作られた「安否確認カード」の使用説明があり、全員への配布をしました。



また、岡山市より支給されたアルファ化米とともに、パッククッキングレシピについて配布し、家庭内備蓄を考える機会としました。



令和5年度 岡山市防災キャンプ推進事業 実績報告書

公民館名 岡山市立吉備公民館

実施施設名 岡山市立陵南小学校

1. 事業趣旨と目的

自助・共助に重点をおいた実習を計画し、住民と地域活動団体が協力して地域防災力を高めることを目的とする。様々な災害に備えて、避難所が開設された際の備蓄、避難経路、避難所運営の体制づくりと防災リーダーの育成をめざす。

2. キャンプ実施実績

事業名称	もしもに備える防災訓練			
実行委員会名称	陵南学区防災キャンプ実行委員会			
実施期日	第1回	令和5年12月9日から1日間		
主な活動	プログラム等	講師・協力団体等	活動等の概要	活動時間
	実習	消防署・消防団 民生委員	水消火器で実際の火を消火する訓練	2.5時間
			起震車で震度7体験	
			煙道体験	
			土のう作り、積み方訓練	
	水道局	給水訓練		
公民館・中学生 ボランティア	地震転倒防止間違い探し			
	水害着せ替えゲーム			
閉会		修了証授与・アンケート記入・片付け	0.5時間	
合 計			3 時間	

3. 参加者実績(延参加者数) ※複数回開催している場合は総合計を記載

小学生	27 名	中学生	11 名	高校生	名
未就学時・乳児	5 名	家族・地域住民	168 名	教職員・施設職員等	2 名
有償ボランティア(講師・運営補助者等)			0 名	無償ボランティア	80 名
総 計					293 名

4. 実行委員会実績

構 成 員 数	23 名	主 な 構 成 員	陵南学区安全安心ネットワーク・陵南学区自主防災会・吉備中学校、陵南小学校、こども園・小・中PTA、民生委員・児童委員、愛育委員、体育協会、消防団、栄養改善協議会	
会 議 内 容	会 議 日	場 所	協 議 内 容 等	開催時間
	9月15日	陵南コミュニティ ハウス	防災キャンプの概要・チラシ(案)	2 時間
	11月19日		日程と役割分担(最終確認)	2 時間
合 計				4 時間

5. 事業成果の周知実績

行 事 名 称	公民館ロビー展示			
実 施 期 日	第1回	令和 6 年 1 月 15 日 から 日間		
主 な 活 動	プログラム等	講師・協力団体等	活 動 等 の 概 要	活動時間
	ロビー展	公民館職員	公民館ロビーに掲示して、館の利用者に防災対策について啓発をしている。 4月以降は陵南コミュニティハウスに掲示予定。	時間
合 計				0 時間

6. 成果と課題

今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆中学生ボランティアの活躍 吉備中学校へボランティアの募集を行い、10名の学生が「転倒防止間違い探し」「水害着せ替えゲーム」の準備、進行、解説を担当した。 参加者から「中学生の説明が分かりやすく良かった」との感想があった。 ◆全町内会からの参加 学区の全13町内会が各々の避難場所に集合してから、学区で作成した避難経路マップを使って避難所となる陵南小学校へ徒歩で集合した。 ◆各種団体の協力 陵南学区安全・安心ネットワークを中心に様々な世代がスタッフとして関わり、スムーズな運営ができた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者アンケートでは、「今後も継続開催をして体験者を増やすことが有効」「要介護の人はどうしたらいいのか、助け合いが必要」などの感想があり、今後の訓練の課題となった。 ・また、近い将来発生が予想される南海トラフ地震や近年多発する気象災害などの様々な災害を想定して、町内会の自主防災会や地元法人への呼びかけ、避難所となる学校との連携、若者がボランティアとして参加できるプログラムの企画など、防災リーダーが存在する地域を目指す努力をしていく。

7. 活動の様子

◆9時30分 受付開始(担当:民生委員・児童委員)



◆10時 開会



◆消防車説明



◆消火訓練



◆起震車体験



◆消防ヘリコプターが上空を旋回



◆煙道体験



◆土のう積み



◆応急給水栓



地域の避難所となる陵南小学校の給水タンクには、満杯時には25㎡の水があります。これは大人1日あたり3Lを使用する計算で8,333人分となります。

地域の方で鍵を管理しているので、災害時には給水装置を取り付けて、公衆衛生用として使用できます。ただし、飲料として使用するには、水道局の水質検査が必要となります。

小学校・中学校・公民館などの避難所には、備蓄されている水や食料がありますが、数に限りがありますので非常持ち出し袋を各自備えておきましょう。

◆地震転倒防止間違い探し ・ 水害着せ替えゲーム (担当:吉備中学生ボランティア)



どちらのゲームも、子どもから大人まで地震や水害への備えを分かりやすく学べるもので、吉備中学校の生徒10名がゲームの準備、説明、進行、解説をしました。7つのグループに対して役割を交代しながら説明をし、参加者からも「中学生の活躍に感心した」「ぜひ次回も参加してほしい」との感想がありました。

7つの実習を終えたグループは、受付にアンケートの提出をして岡山市より支給された「アルファ化米・ビスケット・水」を受け取り、家庭内備蓄についてを考える機会としました。

令和5年度 岡山市防災キャンプ推進事業 実績報告書

公民館名

足守公民館

実施施設名

旧 大井小学校 体育館・運動場

1. 事業趣旨と目的

あしもり学園の児童・生徒等青少年と、地域住民が避難所体験など防災に関する体験や交流をすることで、地域における防災意識の高揚に努める。
また、同じ蛍明小学校区の他地区(旧高田小、福谷小学区)の方々にも参加してもらうことで、蛍明小学校区全体での取り組みにつなげる機会とする。

2. キャンプ実施実績

事業名称	大井安全安心ネットワーク防災キャンプ			
実行委員会名称	大井安全安心ネットワーク防災キャンプ実行委員会			
実施期日	第1回	令和 5 年 11 月 12 日	から	1 日間
	第2回	令和 年 月 日	から	日間
	第3回	令和 年 月 日	から	日間
主な活動	プログラム等	講師・協力団体等	活 動 等 の 概 要	活動時間
	地震体験	岡山西消防署	少数の班に分かれて体験	0.5 時間
	消火訓練(水消火器)・煙道体験	大井消防分団	少数の班に分かれて体験	0.5 時間
	炊き出し訓練	大井地区婦人会	ハイゼックス袋で炊飯し紙食器づくりを全員で学ぶ	2 時間
	防災ダンス	岡山大学	ぼうさいPiPit! ダンス:楽しくダンスをしながら学ぶ	1 時間
				時間
合 計				4 時間

3. 参加者実績(延参加者数) ※複数回開催している場合は総合計を記載

小学生	18 名	中学生	2 名	高校生	0 名
未就学時・乳児	8 名	家族・地域住民	47 名	教職員・施設職員等	0 名
有償ボランティア(講師・運営補助者等)			8 名	無償ボランティア	2 名
総 計					85 名

4. 実行委員会実績

構 成 員 数	23 名	主 な 構 成 員	大井地区安全安心ネットワーク構成メンバー		
会 議 内 容	会 議 日	場 所	協 議 内 容 等		開催時間
	7月8日	福祉交流プラザ大井	防災キャンプについて説明～日程		1 時間
	9月9日	大井老人憩いの家	プログラム内容について		1 時間
	10月7日	福祉交流プラザ大井	役割分担について		1 時間
	12月2日	福祉交流プラザ大井	ふりかえり		2 時間
合 計					5 時間

5. 事業成果の周知実績

行 事 名 称	大井地区安全安心ネットワーク 日帰り防災キャンプ 報告(回覧)			
実 施 期 日	第1回	令和 5 年 12 月 14 日 から 日間		
	第2回	令和 年 月 日 から 日間		
主 な 活 動	プログラム等	講師・協力団体等	活 動 等 の 概 要	活動時間
	報告書作成	実行委員	アンケート集計、画像編集、文章作成、印刷	2 時間
				時間
				時間
				時間
合 計				2 時間

6. 成果と課題

今 年 度 の 成 果	<p>第2回ということもあり、実行委員会は昨年に比ベスムーズに運営できた。参加者、特に小学生の参加を促すために小学生も参加しているヒップホップダンスチームに出演を依頼したことはキャンプの雰囲気盛り上げることに成功した。足守中学校の体育館が照明工事のため使用できず、旧大井小学校を会場にしたことで近所の方の参加が増えた。この方たちが今後も参加できるよう考えたい。今回導入したカエルキャラバン(南区)の防災ゲームも中学生ボランティアに役割を担ってもらうことができた。</p>
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間はお昼を食べて半日で終わるように検討する ・ 会場は足守中学校が良い(指定職員が配置される避難所であるので) ・ 炊き出し訓練は子どもも参加できるメニューや方法を婦人会と相談する ・ 広報など準備を早く

7. 活動の様子

9:30 【受付訓練】



受付票の記入



ハイゼックス袋配布とお米入れ

10:00 【開会・オリエンテーション・炊き出し準備】



萱野実行委員長の開会挨拶



炊き出し準備（婦人会）



ポリタンクリレー！（炊き出し用の水の運搬）



ハイゼックス袋を鍋に投入

10:30 【災害・防災体験@運動場/消防団】



地震体験（起震車）



消火訓練（水消火器）



煙道体験



緊急車両見学

11:00 【防災アクティビティ①@体育館】



【防災紙芝居】「きけんはっけん」（中学生チーム）



【防災ゲーム】 家具転倒防止間違い



新聞紙を使った食器づくり (中学生チーム)



新聞紙 de スリッパづくり (中学生チーム)

12:00 【昼食タイム】



「ハイゼックスごはん」を新聞紙食器へ



「婦人会カレー」の盛り付け



ニンニクとショウガたっぷりの手作りカレー



みんなでおいしくいただきました！

13:00 【防災アクティビティ②@体育館】



ぼうさい PiPit! ダンス (岡山大学ヒップホップダンスチーム)



防災ビデオ「岡山学 BOSAI」(岡山市危機管理課作成)

14:30 【閉会式@体育館】



高安消防団長(大井分団)による講評



荒木副実行委員長の閉会挨拶

令和5年度 岡山市防災キャンプ推進事業 実績報告書

公民館名

岡山市立旭東公民館

実施施設名

岡山市立旭東公民館 岡山市立芥子山小学校

1. 事業趣旨と目的

児童・生徒等の青少年と地域住民が、避難所にも指定されている公民館や小学校において、地震を想定した様々な体験活動を行うことを通じて、地域における防災意識の高揚を図るとともに、児童・生徒等の青少年と地域住民間の相互交流することができる機会とする。またその後親子で防災について考え話し合うきっかけとなることを期待したい。

2. キャンプ実施実績

事業名称	初めての防災デイキャンプ			
実行委員会名称	芥子山学区防災キャンプ実行委員会			
実施期日	第1回	令和 5 年 11 月 26 日 から 1 日間		
	第2回	令和 年 月 日 から 日間		
	第3回	令和 年 月 日 から 日間		
主な活動	プログラム等	講師・協力団体等	活動等の概要	活動時間
	開会式	消防署・消防団	展示してある避難所運営用品の説明 消防の方の話	0.5 時間
	体験活動クイズ等	消防署・消防団	起震車 水消火器 煙道 VR(ipad)火災 心肺蘇生法 防災クイズ アンケート	1.8 時間
	閉会式	消防署・消防団	本日の振り返り 消防の方へのお礼	0.2 時間
	非常食試食	栄養改善・愛育委員	非常食試食 非常避難袋(参加賞)配布	0.5 時間
合 計				3.0 時間

3. 参加者実績(延参加者数) ※複数回開催している場合は総合計を記載

小学生	45 名	中学生	5 名	高校生	0 名
未就学時・乳児	15 名	家族・地域住民	55 名	教職員・施設職員等	10 名
有償ボランティア(講師・運営補助者等)			名	無償ボランティア	60 名
総 計					190 名

4. 実行委員会実績

構 成 員 数	26 名	主 な 構 成 員	芥子山学区安全・安心ネットワーク役員・会員		
会 議 内 容	会 議 日	場 所	協 議 内 容 等		開 催 時 間
	5月26日	旭東公民館	昨年度の防災の振り返りと今年度の方向性		1.5 時間
	6月16日	旭東公民館	防災キャンプの実施に向けて		1.0 時間
	10月13日	旭東公民館	防災キャンプの内容と役割分担		1.5 時間
	11月17日	旭東公民館	防災キャンプのスケジュールと役割・準備物確認		1.0 時間
合 計					5.0 時間

5. 事業成果の周知実績

行 事 名 称	公民館ロビー展示			
実 施 期 日	第1回	令和 5 年 12 月 18 日 から 約1か月間		
	第2回	令和 年 月 日 から 日間		
主 な 活 動	プログラム等	講師・協力団体等	活 動 等 の 概 要	活動時間
	ロビー展	公民館職員	活動の様子や参加者の感想が分かる模造紙を掲示	時間
				時間
合 計				0 時間

6. 成果と課題

今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年防災訓練を継続して実施してきているが、子どもを巻き込んでの防災行事は初めてであった。子どもを巻き込むことにより、親である20～50代の参加も多く、参加者の幅を広げることができてよかった。参加者からも「参加してよかった」という感想をいただいた。 ・アンケート「今日体験したことや学習したことはこれからの生活に役に立つと思いますか」に対して、「とても役に立つと思う」70名、「役に立つと思う」20名、「あまり役に立つと思わない」0名、「役に立つと思わない」0名であった。今回の目的である「地域における防災意識の高揚を図る」ことへの一助になったと考える。 ・アンケートへの自由記述から、「家族と話し合うきっかけとなりとてもよかった」「家族との打ち合わせをしておこうと思う」など書かれていた方がいたので、親子で防災に対する話し合いにもつながった家庭もあるのではないかと考える。 ・約70名のスタッフがそれぞれの役割を果たしていただき、本事業を実施することができた。地域の関係団体が防災意識をもち、快く担当していただき、その想いが参加した地域住民に伝わっていたように感じる。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生45名、中学生5名で、中学生の参加をもう少し増やしたいところである。当初、中学生に「防災クイズ」「簡単な防災グッズ作り」などを担当してもらいたいと考え、ボランティア募集のチラシを中学校を通して配布した。ちょうど実施時期の11月末は、中学校の2学期末試験前で、残念ながらボランティアの参加は得られなかった。今後、中学生のボランティアを生かす方向で行く場合、実施時期を考慮する必要があると思われる。 ・今回は親子を中心としたへの防災意識の高揚を図る一助となったと考えるが、地域住民の防災意識を高めるために、自主防災組織の充実など課題として挙げられる。各単位町内会の自主防災組織の長は、単位町内会長が兼任していることが多い。その町内会長が1～2年で替わるところが多く、現実には想定される災害をより具体的に認識できるような学習の機会(自主防災交流会)が必要であると感じる。

7. 活動の様子

☆8：20～役員打ち合わせ 打ち合わせ後、担当・係ごとにそれぞれ準備をしました。



☆9：30～開会式 芥子山小学校体育館で次のプログラムで行いました。

- ①安全・安心ネットワーク会長挨拶
- ②本日の日程説明
- ③小学校が避難所となった場合の運営用品の説明(展示したもの)
- ④消防署の方の話
- ⑤諸連絡



*小学校体育館・公民館に設置・展示した避難所運営用品・防災用品です。



☆10：00～体験活動開始 4班に分かれて誘導係の先導で各活動を体験しました。

①起震車体験



②水消火器体験



③煙道体験



④VR火災体験



⑤心肺蘇生法体験



⑥防災クイズ



☆11：50～閉会式 旭東公民館講座室で次のプログラムで行いました。

- ①安全・安心ネットワーク副会長 挨拶
- ②本日の振り返り（子ども数名 感想発表）
- ③消防署の方へのお礼
- ④消防署の方の話
- ⑤諸連絡



非常持出袋には
アルファ米
クラッカー 水
啓発ファイル
携帯トイレ
が入っています

☆12：00～非常食試食 試食後、参加賞（非常持出袋）を受け取り解散しました。



◆◆90名の方からアンケートの回答をいただきました◆◆

<子どもの感想から>

- ・今まで防災リュックなどを詳しく調べて用意したことがなかったからよかったと思った。
- ・初めてこんな災害訓練をしてみても楽しかったけど、本当にこんなことが起こると考えるとこわく思えるので、この体験をしてみてもよかった。また参加したい。
- ・最初はめんどくさかったけど、学べることがたくさんあってとても勉強になった。

<大人の感想から>

- ・貴重な体験ができて、家族と話し合うきっかけとなりとてもよかった。
- ・子どもが一人で留守番をする機会もあるので、一人の時どうしたらよいかということも学んでほしく参加した。話だけでなく、体験することもできたのでよかった。
- ・実際に地域の方と体験的に学ぶことが、意義が大きいと改めて思った。
- ・防災についてあまり興味がなかったけど、子どもといっしょに勉強できて、自分事として考えられるようにならなければと思った。
- ・地震に対する備え、家族との打ち合わせをしておこうと思う。

♠♠たくさんのスタッフに支えられて実施することができました♠♠

- | | |
|------------------|------------------|
| ・岡山市消防団芳野分団・可知分団 | 体験活動担当 |
| ・芥子山小学校PTA | 防災クイズ係 |
| ・連合町内会 | 誘導係 |
| ・交通安全対策協議会 | 駐車場係 |
| ・愛育委員会 | 参加賞袋詰め配布係 非常食配布係 |
| ・民生委員・児童委員協議会 | 受付係 アンケート用紙配布係 |
| ・栄養改善協議会 | 非常食買い出し・調理係 |
| ・交通安全母の会 | 班別の色ガムテープを貼る係 |
| ・体育協会 | 誘導係 避難所用品組み立て係 |